

## 地域

地域素材の掘り起し・産業の支援

1次産業

農業への参入



トマトを生産する太陽光利用型植物工場  
「JRとまとランドいわきファーム」

2次産業

加工工場の設置



A-FACTORY  
AOMORI  
CIDRE  
SWEET  
200ml



規格外りんご等を活用  
青森シードル工場  
「A-FACTORY」

## 首都圏

販路を活用した地域素材の魅力発信、需要拡大

3次産業

首都圏販路の活用



地産品セレクトショップ  
「のもの」



地産品の販売と観光 P R の場  
「産直市」



あきたこまちを「はこビュン」  
で首都圏へ輸送



「JRE MALL ふるさと納税」  
を通じた地域の魅力発信

# 企業人参加による農繁期支援施策

## ◆目的

『農繁期の農業労働力確保』のため、1日単位で農作業支援ができる既存サービスを活用。

自治体、外部企業を巻き込んで、農業に関わる人を増やす取組み。

「農家側の外部人材受入拡大」・「短期就農による就農関心層の拡大」により地域の観光資源でもある農業の発展につなげていく。

農家側：外部人材を受け入れる環境づくり

企業側：繁忙期の農作業支援により地域産業維持に貢献

### 1 地域パートナー

自治体  
JA  
地域生産者団体

地域農家の  
利用促進  
働き手の  
集客連携

### 1日単位での農作業支援 「day work for Biz」

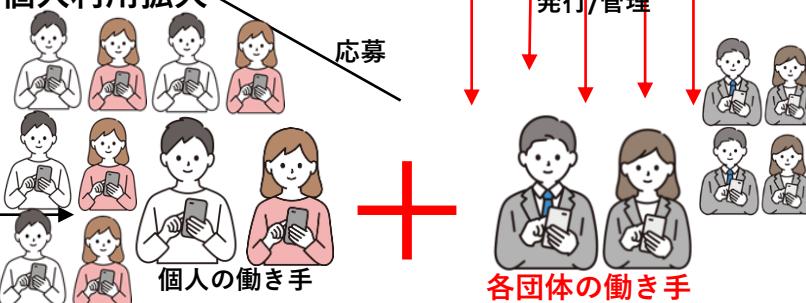


法人用管理  
サービス提供

### 2 法人パートナー

企業  
自治体  
大学  
ほか

### 4 個人利用拡大



利用促進  
受入体制  
整備支援

求人



### 3 農家求人増

利用者無料サービス

成立/清算

個人の働き手



各団体の働き手

# 企業人参加による農繁期支援施策

企業人による援農実証実験の一環で、農体験を組み合わせた地域課題ワークショップを開催。

**県外エリアからの企業人の呼び込みと、地域交流による関係人口創出を目的に実施。**

→2025年度は上記に加え、**社員の健康や企業の健康経営**に資するような取り組みを実施。

## 【実施プログラム】

(山形県エリア) **25年6月18~20日**

- ・天童市エリアでのさくらんぼ農作業支援
- ・山形統括センターと参加企業との交流

(長野県エリア) **25年6月27日、7月10日~11日**

- ・須高エリアのぶどうの摘粒等の農作業支援
- ・唾液採取によるストレス値の変化を計測

(青森県エリア) **25年6月5日**

- ・りんごの摘果作業実施による農作業支援



## ○健康経営に関係した取り組み実例

✓ 農作業実施前・実施後で唾液採取によるストレスチェックを実施し、農作業を実施することでストレス値がどう変化するのかを調査する。

### プログラム実施前

### プログラム当日

### プログラム実施後



アンケート実施  
作業適性の把握



作業前の唾液採取



農作業に従事



作業後の唾液採取



結果の分析  
レポート作成

# 特定技能外国人制度活用について

○農繁期の補助労働力確保に向け、自社エリアにおける**特定技能外国人材の活用を検討。**  
→2025年2月、特定技能人材派遣会社である**YUIME社**にJRグループとして出資。

○特定技能外国人を受け入れるトライアルとして、JRグループにて運営する農場にYUIME社より2名外国人材の受け入れを実施した。

